

実践記録

162

シリーズ

子どもの居場所づくりを通じた地域(まち)づくり

柏崎市 須田 貴子

◆活動経緯

比角地区では、中心部に古くからの住宅地があり、近年その周辺部に住宅やアパートが建てられ、中心部の人口減と高齢化が進んでいます。全国的な傾向でもある核家族化、近隣社会の日常的なふれあいの希薄化なども顕著に表れ、近年の地域社会への関わりに消極的な住民も多く、そのことが地域コミュニティの弱体化につながり、さらに課題解決を難しくしている面もあります。

そこで平成12年・13年と2年間に渡り学校完全週5日制施行前に子どもの安全安心な居場所をテーマとしたシンポジウムを実施。その後、小中学校PTAOBが中心となり平成14年に育成会の前身である「比角子ども育成応援団」を発足。放課後時における子ども達の安全・安心な居場所(時間・空間・仲間)づくりを目的とした活動を開始しました。

翌15年には、比角地区の青少年健全育成を目的に組織する団体及び支援する団体で組織した「比角地区子ども育成会」を設立。単位子ども会や青少年健全推進市民会議・民生委員・老人会・小中学校PTA・青年会・コミセン学習部等々の団体の代表の方々から入っていただき、会員数921名。理事19名で年間の活動を実施しています。



下校の見守り

◆居場所としてのコミュニティ

設立当初からコミュニティの協力でサークルの方々を利用しない15時30分～18時の間、コミュニティセンター(以下:コミセン)を開放、子どもの放課後時の安全な居場所としました。コミセンを拠点としてからは、お年寄りの集まる場・健診会場のコミセンではなく、誰でもが集える場として老若男女が気軽に立ち寄れる館となり、今では社会教育施設のコミセンが高校生や乳幼児連れの若いお母さんも多く利用していただける館となっています。

◆活動の状況

年間の活動として、交通安全教室や野外キャンプ、地域外交流「どんど焼き」なども実施しています。たくさんの地区内外の指導者から協力していただき、活動スタッフとして高校生や大学生からも協力していただいています。

平成16年から始まった地域子ども教室(文



放課後子ども教室(比角)

部科学省委託事業)「放課後クラブ」を開設。今では毎月の案内を発行し、小学校だけではなく、時々、地区内の幼稚園・中学校にも配布しています。

平成19年からは放課後子どもプランの「放課後子ども教室」を開設。年数回ですが、小学校内での保護者会時やクリーン活動時での子ども預かり等、保護者の皆様から大変好評な活動となっています。

◆中越沖地震後からの取組

震災後から心のケア活動に取組み、地域で活躍されている方々から参画していただき「比角はぐくみ運動実行委員会」を立ち上げ、家庭での教育を考える「きっかけ」に「命」「心」「食」を柱として掲げたポスターを作成しました。

同時に家庭教育に関わるアンケートも実施し、近年の核家族化で孤立した子育てをしていること、顔の見える形での地域の支え合いの力が弱くなってきたこと、保護者の就労時間が長く、家族が協力して子育てを担う環境が整っていない、などの現状が推察されました。これらのことなどから、平成21年に文部科学省「訪問型家庭教育相談体制充実事業」の委託を受け、家庭教育支援チーム「よろんごの木」を立ち上げ、子育て便利帳の発刊や企業体への出前講座、小中学校・企業・地域一体となったキャリア教育懇談会を開催しています。

◆連携と協働

常に色々なところとの連携を試み、子ども中心の活動としながらも、地域に支えられ、安全安心な地域社会にしたいと心から願いながら活動を展開しております。

今回の県の委託事業である「家庭教育支援民間提案型協働事業」もそのひとつです。企業経営者からも参画していただき、行政と協働で企画しました。

今後も色々な団体と連携を取りながら、未来の子ども達のために頑張りたいと思っております。

あなたも子ども達の笑顔と未来のため、地域の活動に参加することから始めてみませんか。

平成23年度 新潟県家庭教育支援民間提案型協働事業

	日時	内容	会場
①	8月21日 13時30分	パパの子育て ～ひとり親家庭の現状	柏崎エネルギーホール
②	9月17日 10時00分	家庭教育って、なに?	柏崎市民プラザ
③	10月24日 18時30分	企業が できる 子育て支援	柏崎市民プラザ
④	11月5日 13時00分	「あなたもやってみよう」 心のタッチケア	柏崎市民プラザ
⑤	11月23日 14時00分	仕事と子育てが 両立できる職場へ	柏崎市民プラザ